

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	秋田情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人伊藤学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	経営情報科	夜・通信	690	320	
	情報システム科	夜・通信	450	160	
商業実務専門課程	医療福祉ビジネス科	夜・通信	930	160	
	総合ビジネス科	夜・通信	1,140	160	
	ペットビジネス科トリマーコース	夜・通信	2,610	160	
	愛玩動物看護科(1～2年生) ペットビジネス科動物看護コース(3年生)	夜・通信	2,970	240	
	ビジネス専攻科 医療事務系	夜・通信	570	80	
	ビジネス専攻科 簿記・ビジネス系	夜・通信	540	80	
	ビジネス専攻科 システム系	夜・通信	150	80	
	ビジネス専攻科 トリマー系	夜・通信	1,290	80	
(備考) ・ペットビジネス科 動物看護コース(3年制)について 2024年度入学生より「愛玩動物看護科」へ科名変更。在校生の3年生は科名の変更はなし。 ・医療福祉ビジネス科(2年制)について 2026年度入学生より「医療事務・美容ビジネス科」へ科名変更予定。 2026年度在籍の2年生は科名の変更はなし。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.ito-gakuen.ac.jp/aibc/public/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由) 特になし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	秋田情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人伊藤学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.ito-gakuen.ac.jp/public/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	裏千家茶道教授	R7.5.30 ～ R11.6月下旬	学校運営に関する 分析及び助言
非常勤	元私立幼稚園教諭	R7.5.30 ～ R11.6月下旬	学校運営に関する 分析及び助言
非常勤	元私立幼稚園教諭	R7.5.30 ～ R11.6月下旬	学校運営に関する 分析及び助言
非常勤	税理士	R7.5.30 ～ R11.6月下旬	学校運営に関する 分析及び助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	秋田情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人伊藤学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
授業計画(シラバス)を作成するにあたり、教務部・担当教員を中心に「授業計画(シラバス)作成ガイドライン」を定め、ガイドラインに沿って作成している。 授業計画(シラバス)は毎年度、期末に見直しを実施し内容を更新している。また、授業計画は毎年度更新したものを本校のホームページ上に掲載、公開し閲覧可能な状態にする。	
授業計画書の公表方法	https://www.ito-gakuen.ac.jp/aibc/public/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
●成績評価については学則及び学生便覧に定めている	
◇学則第7条3項	
授業科目の成績評価は、科目の修了時において各科目試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。	
●学生便覧	
■成績評価基準	
各教科とも総合的な評価により、A、B、C、Dの評価を行う。単位認定は、C以上とする。	
1. 評価は科目試験、出席率、授業態度、検定取得状況、課題・レポート状況などにより総合的に評価する。	
2. 評価はA、B、C、Dの4段階とする。	
3. 評価基準は次の基準に従って評価し、A～Cの評価のものについてのみ、その科目の修得認定を行う。	
評価	基 準
A	80点以上 (優) 科目に対する理解及び日常の授業態度が特に優秀である
B	60点以上 (良) 科目に対する理解及び日常の授業態度が良好である
C	40点以上 (可) 科目に対する理解及び日常の授業態度が普通である
D	40点未満 (不可) 科目に対する理解及び日常の授業態度が劣る
4. 実習等の授業科目(点数が明確につかないもの)においては、レポート提出状況、実習態度、出席率、成果(達成目標)を総合的に判断し評価する。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

■成績評価とG P Aポイント

成績評価	内容	GPAポイント
A	認定	3.0
B		2.0
C		1.0
D	単位不認定	0

※成績評価は原則として科目ごと、その終了時に評価する。ただし、再試験等により評価しなおすことがある。また、同一名称であっても、末尾に1・2または、A・B等の記号の付されているものは、それぞれ別の科目として取り扱う。

■G P Aの算出方法

個々の授業科目についての成績評価に、それぞれにGPAポイントを設定し「各
科
目の単位数×GPAポイント」の和を「履修単位数合計」で除して算出したものがGPAになる。

※各成績評価に対応するGPAポイントは上表を参照する。

<G P A算式>

$$G P A = \frac{(3 \times A \text{ 評価単位数} + 2 \times B \text{ 評価単位数} + 1 \times C \text{ 評価単位数})}{\text{履 修 単 位 数 合 計 (D 評価で不認定になった単位数も含む)}}$$

学科、コースにより受講科目数や授業時間数、実習授業の割合が異なっている場合でも、測定する指標とします。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.ito-gakuen.ac.jp/aibc/public/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

●卒業認定・専門士の称号に関する方針 ディプロマ・ポリシー

本校の定めるカリキュラムを履修し、教育方針に掲げる「現代社会の要請、特に地元産業界のニーズに合った人材育成」を目標に、実社会で要請され、すぐに役立つ資格・能力・知識を身につけると同時に一般教養とマナーを身につけ、明るく健康で建設的な意志を持つと認められる学生に対し、卒業を認定し専門士を授与します。

●卒業認定及び卒業基準については学則及び学生便覧に定めている

◇学則第7条

(教育課程及び単位数)

第7条 本校の教育課程及び単位数は、別表1のとおりとする。

2 別表1に定める学科の卒業までに履修する単位数は経営情報科にあっては124単位(1単位30時間)、情報システム科・医療福祉ビジネス科・総合ビジネス科・ペットビジネス科トリマーコース(2年制)にあっては62単位(1単位30時間)、ペットビジネス科動物看護コース(3年制)にあっては96単位(1単位30時間)、ビジネス専攻科にあっては30単位(1単位30時間)とする。

◇学則第15条

(卒業)

第15条 本校所定の課程を終了した者には、学習評価のうえ卒業証書を授与する。

2 前項により、工業専門課程の経営情報科・情報システム科を終了した者には専門士(工業専門課程)の称号を授与、また、商業実務専門課程の総合ビジネス科・医療福祉ビジネス科・ペットビジネス科を終了した者には、専門士(商業実務専門課程)の称号を授与する。

●学生便覧

卒業は卒業認定会議を経て学校長が認定する。なおかつ、以下の基準を満たすものとする。

(卒業基準)

修業年限	学科名	出席時限数	科目単位	検定単位	学費
1年	ビジネス専攻科	400	30単位	2単位	納入済み
2年	情報システム科	850	62単位	4単位	納入済み
	医療福祉ビジネス科	850	62単位	4単位	納入済み
	総合ビジネス科	850	62単位	4単位	納入済み
	ペットビジネス科 トリマーコース	850	62単位	4単位	納入済み
3年	[2024年～2025年度入学生] 愛玩動物看護科 [2023年度入学生] ペットビジネス科 動物看護コース	1200	96単位	4単位	納入済み
4年	経営情報科	1600	124単位	4単位	納入済み

※卒業基準に基づき、本校の課程を修了したことを認定するとともに、修業年限2年以上の学科については専門士の称号を授与する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.ito-gakuen.ac.jp/aibc/public/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	秋田情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人伊藤学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.ito-gakuen.ac.jp/public/
収支計算書又は損益計算書	https://www.ito-gakuen.ac.jp/public/
財産目録	https://www.ito-gakuen.ac.jp/public/
事業報告書	https://www.ito-gakuen.ac.jp/public/
監事による監査報告（書）	https://www.ito-gakuen.ac.jp/public/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	経営情報科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3, 7 2 0 単位時間	1, 372 単位時間	3, 078 単位時間	7 3 6 単位時間	単位時間	単位時間
			5, 1 8 6 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
3 0 人		1 0 人	0 人	4 人	7 人	1 1 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）の作成については、担当教員を中心に授業計画を行い、方法・内容・到達目標・成績評価の方法を定め本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、授業計画書（シラバス）を、当該年度の前年度末に作成している。 〔大学併修コース〕専門学校と大学（北海道情報大学通信教育部）との同時履修
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価は、科目の修了時において各科目試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 学則及び学生便覧にて規定するとともに、学生便覧に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。 また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定に関してディプロマポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）を策定し、各学科に共通して適用している。 また、学生への周知を図るとともに学生便覧にて公表している。実施に当たっては、

「進級及び卒業の認定」を学則及び学生便覧に規定し、認定会議の審議を基に適切に認定している。
学修支援等
(概要) 担当教員により、欠席・遅刻・欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8 人 (100%)	0 人 (0%)	8 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) I T企業、小売業、他			
(就職指導内容) 履歴書指導、面接指導、就活応援講座、校内企業説明会開催等。 個々の希望をアンケート、面談等を通じて把握し個別指導を実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、Oracle 認定 Java プログラマ、Java プログラミング能力認定試験、日商簿記検定、日商リテールマーケティング(販売士)検定等			
(備考)（任意記載事項） [大学併修コース] 専門学校と大学（北海道情報大学通信教育部）との同時履修			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 6 人	1 人	6. 3%
(中途退学の主な理由) 体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・担当教員による個別面談を実施し、本人の希望・要望などを把握し、対応する。 ・成績不良者に対する補習授業の実施等		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
工業		専門課程	情報システム科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 8 6 0 単位時間	1, 132 単位時間	1, 044 単位時間	5 9 0 単位時間	単位時間	単位時間
			2, 7 6 6 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
7 0 人		5 3 人	0 人	3 人	8 人	1 1 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）の作成については、担当教員を中心に授業計画を行い、方法・内容・到達目標・成績評価の方法を定め本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、授業計画書（シラバス）を、当該年度の前年度末に作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価は、科目の修了時において各科目試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 学則及び学生便覧にて規定するとともに、学生便覧に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。 また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定に関してディプロマポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）を策定し、各学科に共通して適用している。 また、学生への周知を図るとともに学生便覧にて公表している。実施に当たっては、「進級及び卒業の認定」を学則及び学生便覧に規定し、認定会議の審議を基に適切に認定している。
学修支援等
（概要） 担当教員により、欠席・遅刻・欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32人 (100%)	3人 (9.4%)	29人 (90.6%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 情報通信業、IT企業、製造業、小売業等			
（就職指導内容） 履歴書指導、面接指導、就活応援講座、校内企業説明会開催等。 個々の希望をアンケート、面談等を通じて把握し個別指導を実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、ITパスポート試験、Oracle 認定 Java プログラマ、情報処理技術者能力認定試験、Java プログラミング能力認定試験、情報検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
65人	3人	4.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更（就職）、体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談を実施、本人・保護者の希望、要望を把握し対応		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		専門課程	医療福祉ビジネス科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1, 860 単位時間	718 単位時間	1,184 単位時間	360 単位時間	単位時間	単位時間
			2, 262 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
45人		26人	0人	3人	6人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書(シラバス)の作成については、担当教員を中心に授業計画を行い、方法・内容・到達目標・成績評価の方法を定め本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、授業計画書(シラバス)を、当該年度の前年度末に作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価は、科目の修了時において各科目試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 学則及び学生便覧にて規定するとともに、学生便覧に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。 また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定に関してディプロマポリシー(卒業認定・専門士称号に関する方針)を策定し、各学科に共通して適用している。 また、学生への周知を図るとともに学生便覧にて公表している。実施に当たっては、「進級及び卒業の認定」を学則及び学生便覧に規定し、認定会議の審議を基に適切に認定している。
学修支援等
（概要） 担当教員により、欠席・遅刻・欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	13人 (92.9%)	1人 (7.1%)
(主な就職、業界等) 病院・医院・クリニック、調剤薬局等			
(就職指導内容) 履歴書指導、面接指導、就活応援講座、校内企業説明会開催等。 個々の希望をアンケート、面談等を通じて把握し個別指導を実施。			

(主な学修成果(資格・検定等)) 医師事務作業補助技能認定試験、医科医療事務管理士技能認定試験、調剤事務管理士技能認定試験、医療秘書技能検定、医事コンピュータ技能検定、診療報酬請求事務能力認定試験、登録販売者、簿記検定、日商PC等
(備考) (任意記載事項) 2026年度生より、「医療事務・美容ビジネス科」に科名変更予定

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学者無し		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談を実施、本人・保護者の希望、要望を把握し対応		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	総合ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1， 8 6 0 単位時間	1,426 単位時間	1,012 単位時間	3 0 0 単位時間		
			2， 7 3 8 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
4 0 人		4 0 人	4 人	2 人	6 人	8 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画書(シラバス)の作成については、担当教員を中心に授業計画を行い、方法・内容・到達目標・成績評価の方法を定め本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、授業計画書(シラバス)を、当該年度の前年度末に作成している。
成績評価の基準・方法
(概要) 授業科目の成績評価は、科目の修了時において各科目試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 学則及び学生便覧にて規定するとともに、学生便覧に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。 また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定に関してディプロマポリシー(卒業認定・専門士称号に関する方針)を策定し、各学科に共通して適用している。 また、学生への周知を図るとともに学生便覧にて公表している。実施に当たっては、「進級及び卒業の認定」を学則及び学生便覧に規定し、認定会議の審議を基に適切に認定している。

学修支援等
(概要) 担当教員により、欠席・遅刻・欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	10人 (90.9%)	1人 (9.1%)
(主な就職、業界等) 税理士事務所、サービス業、卸売・小売業、農業保険業、製造業、他			
(就職指導内容) 履歴書指導、面接指導、就活応援講座、校内企業説明会開催等。 個々の希望をアンケート、面談等を通じて把握し個別指導を実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）) ファイナンシャル・プランニング技能士、日商簿記検定、全経簿記能力検定、建設業経理士、ビジネス能力検定、日商PC検定、日商リテールマーケティング(販売士)、サービス接遇検定、色彩検定、登録販売者等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学者無し		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談を実施、本人・保護者の希望、要望を把握し対応		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ペットビジネス科 トリマーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1, 860 単位時間	9 1 2 単位時間	5 3 6 単位時間	1,524 単位時間	単位時間	単位時間
			2, 9 7 2 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		13人	0人	5人	10人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）の作成については、担当教員を中心に授業計画を行い、方法・内容・到達目標・成績評価の方法を定め本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、授業計画書（シラバス）を、当該年度の前年度末に作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価は、科目の修了時において各科目試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 学則及び学生便覧にて規定するとともに、学生便覧に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。 また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定に関してディプロマポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）を策定し、各学科に共通して適用している。 また、学生への周知を図るとともに学生便覧にて公表している。実施に当たっては、「進級及び卒業の認定」を学則及び学生便覧に規定し、認定会議の審議を基に適切に認定している。
学修支援等
（概要） 担当教員により、欠席・遅刻・欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	5人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） トリマー、ペットサロン、ペットショップ、動物病院等			
（就職指導内容） 履歴書指導、面接指導、就活応援講座、校内企業説明会開催等。 個々の希望をアンケート、面談等を通じて把握し個別指導を実施。			

(主な学修成果（資格・検定等）) トリマーライセンス(NAVA)、メディカルトリマー、愛玩動物飼養管理士、NAVA ペット栄養士、JPMA ペットマッサージセラピスト、ペットセーバー等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由) 中途退学者無し		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談を実施、本人・保護者の希望、要望を把握し対応		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	[2024～2025年度入学生] 愛玩動物看護科 [2023年度入学生] ペットビジネス科 動物看護コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類（1・2年次）				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2， 8 8 0 単位時間	1,344 単位時間	9 5 8 単位時間	1,064 単位時間		
			3， 3 6 6 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
7 5 人		4 0 人	0 人	4 人	2 1 人	2 5 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 授業計画書（シラバス）の作成については、担当教員を中心に授業計画を行い、方法・内容・到達目標・成績評価の方法を定め本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、授業計画書（シラバス）を、当該年度の前年度末に作成している。
成績評価の基準・方法
(概要) 授業科目の成績評価は、科目の修了時において各科目試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 学則及び学生便覧にて規定するとともに、学生便覧に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。 また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定に関してディプロマポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）を策定し、各学科に共通して適用している。 また、学生への周知を図るとともに学生便覧にて公表している。実施に当たっては、

「進級及び卒業の認定」を学則及び学生便覧に規定し、認定会議の審議を基に適切に認定している。
学修支援等
(概要) 担当教員により、欠席・遅刻・欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	13人 (92.9%)	1人 (7.1%)
(主な就職、業界等) 動物病院、公共サービス・動物福祉分野等			
(就職指導内容) 履歴書指導、面接指導、就活応援講座、校内企業説明会開催等。 個々の希望をアンケート、面談等を通じて把握し個別指導を実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 愛玩動物看護師[国家資格]、メディカルトリマー、愛玩動物飼養管理士、NAVA ペット管理栄養士、ペットセーバー、トリマーライセンス、JPMA ペットマッサージ・セラピスト、APRIA 認定プラクティショナー、他			
(備考)（任意記載事項） ※2022 年[国家資格]愛玩動物看護師養成所の指定を受ける ※2024 年度入学生より「愛玩動物看護科」に科名を変更。在校生の3年生は科名の変更はなし。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41人	2人	4.9%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談を実施、本人・保護者の希望、要望を把握し対応		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ビジネス専攻科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	(医療事務系選択) 9 0 0 単位時間	4 1 2 単位時間	5 0 0 単位時間	2 3 0 単位時間		
			1, 1 4 2 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
5 人		0 人	0 人	3 人	5 人	8 人	

修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	(簿記・ビジネス系選択) 9 0 0 単位時間	6 8 6 単位時間	6 1 4 単位時間	1 5 6 単位時間	単位時間	単位時間
			1, 4 5 6 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数	兼任教員数	総教員数
5 人		0 人	0 人		2 人	5 人	7 人

修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	(システム系選択) 9 0 0 単位時間	6 2 0 単位時間	4 9 4 単位時間	1 4 8 単位時間	単位時間	単位時間
			1, 2 6 2 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数	兼任教員数	総教員数
5 人		0 人	0 人		3 人	4 人	7 人

修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	(トリマー系選択) 9 0 0 単位時間	5 8 6 単位時間	4 9 4 単位時間	1 6 0 単位時間	単位時間	単位時間
			1, 2 4 0 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数	兼任教員数	総教員数
5 人		0 人	0 人		5 人	8 人	1 3 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）の作成については、担当教員を中心に授業計画を行い、方法・内容・到達目標・成績評価の方法を定め本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、授業計画書（シラバス）を、当該年度の前年度末に作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価は、科目の修了時において各科目試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 学則及び学生便覧にて規定するとともに、学生便覧に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。 また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定に関してディプロマポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）を策定し、各学科に共通して適用している。 また、学生への周知を図るとともに学生便覧にて公表している。実施に当たっては、「進級及び卒業の認定」を学則及び学生便覧に規定し、認定会議の審議を基に適切に認定している。

学修支援等
(概要) 担当教員により、欠席・遅刻・欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	3人 (60.0%)	2人 (40.0%)
(主な就職、業界等) 医療機関、警備・セキュリティ業、人材サービス業界			
(就職指導内容) 履歴書指導、面接指導、就活応援講座、校内企業説明会開催等。 個々の希望をアンケート、面談等を通じて把握し個別指導を実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 医科医療事務管理士、医療事務技能審査試験、日商簿記検定、全経簿記能力検定、ビジネス能力検定、日商P C検定、基本情報技術者、I Tパスポート、トリマーライセンス、愛玩動物飼養管理士、等			
(備考)（任意記載事項） 2025年度は入学者なし。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学者無し		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談を実施、本人・保護者の希望、要望を把握し対応		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
経営情報科	120,000 円	380,000 円	309,490 円	内訳 (施設設備費・維持費、 補助活動費等)
経営情報科4年生		380,000 円	300,400 円	
情報システム科 1年生	120,000 円	480,000 円	459,203 円	内訳 (施設設備費・維持費、 補助活動費等)
情報システム科 2年生		480,000 円	430,703 円	
医療福祉ビジネス科 1年生	120,000 円	480,000 円	477,646 円	内訳 (施設設備費・維持費、 補助活動費等)
医療福祉ビジネス科 2年生		480,000 円	421,750 円	
総合ビジネス科 1年生	120,000 円	480,000 円	459,649 円	内訳 (施設設備費・維持費、 補助活動費等)
総合ビジネス科 2年生		480,000 円	453,680 円	
ペットビジネス科 トリマーコース 1年生	120,000 円	480,000 円	1,049,715 円	内訳 (施設設備費・維持費、 補助活動費、実習費、 器具一式※・ユニフォーム※等) ※1年生のみ
ペットビジネス科 トリマーコース 2年生		460,000 円	706,263 円	
愛玩動物看護科 1年生	120,000 円	480,000 円	1,014,679 円	内訳 (施設設備費・維持費、 補助活動費、実習費、 器具一式※・ユニフォーム※等) ※1年生のみ
愛玩動物看護科 2年生		460,000 円	646,370 円	
ペットビジネス科 動物看護コース 3年生		460,000 円	687,176 円	
ビジネス専攻科	60,000 円	480,000 円	460,000 円	内訳 (施設設備費・維持費、 補助活動費等)
修学支援(任意記載事項)				
・入学金半額、全額免除制度 入学希望者の父母・兄弟姉妹が、本校および秋田社会福祉専門学校(旧学校名：秋田福祉専門学校／秋田保育福祉専門学校)、TOKIファッション工科専門学校の在学生または卒業生である場合は、本校の入学金を半額免除し、本人の場合は入学金全額免除 ・学校独自の奨学金、授業料減免制度 奨学生A合格者1年次200,000円授業料免除、奨学生B合格者1年次100,000円授業料免除 ・AO入学制度 内定合格後、正式出願時の入学選考料(10,000円)免除、入学金一部(30,000円)免除 ・大学入学共通テスト受験者特典制度 入学選考料(10,000円)免除、入学金(60,000円～120,000円)全額免除 ・就職からの進路変更サポート制度 入学選考料(10,000円)免除、入学金(60,000円～120,000円)全額免除				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.ito-gakuen.ac.jp/aibc/public/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
自己評価結果の項目について評価を行う。次年度に向けた重点目標を設定し、全職員にて共通の認識をもち、校長を中心に80%以下の評価について特に留意して改善策を検討する。年度ごと改善に向け取り組んでいく。学校関係者評価委員会（年1回）を設置して客観的な点検及び評価を行い、教育体制の強化を図っていくこととする。		
主な評価項目：教育理念・目的、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ・募集など。		
評価委員会の構成：定数／4名以上、選出区分／企業等役職員や業界団体関係者、卒業生		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
日本薬剤師連盟	2025年4月1日 ～ 2026年3月31日	関係業界団体
一般社団法人情報通信設備協会 東北地方本部	2025年4月1日 ～ 2026年3月31日	関係業界団体
ラップ東京株式会社	2025年4月1日 ～ 2026年3月31日	企業等役職員
わんわんサロン わんまる。	2025年4月1日 ～ 2026年3月31日	企業等役職員
株式会社南部医理科	2025年4月1日 ～ 2026年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.ito-gakuen.ac.jp/aibc/public/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://www.ito-gakuen.ac.jp/aibc/

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H105320100026
学校名 (〇〇大学 等)	秋田情報ビジネス専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人伊藤学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		23人（ 1）人	22人（ 1）人	28人（ 2）人
内 訳	第Ⅰ区分	8人	9人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅱ区分	5人	7人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅲ区分	9人	5人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	1人	1人	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				1人（ 0）人
合計（年間）				28人（ 2）人
（備考） ※前半期は第Ⅱ区分支援対象、後半期は家計急変による支援対象となった学生1名 ※10月の適格認定（家計）による、前半期対象→後半期対象外者有り				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良である
ことについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたこと
により認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。